

令和5年度第2回川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会 グループディスカッションの実施について

1 目的と狙い

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として地域で御活躍いただくことを目指しています。

2 実施にあたって

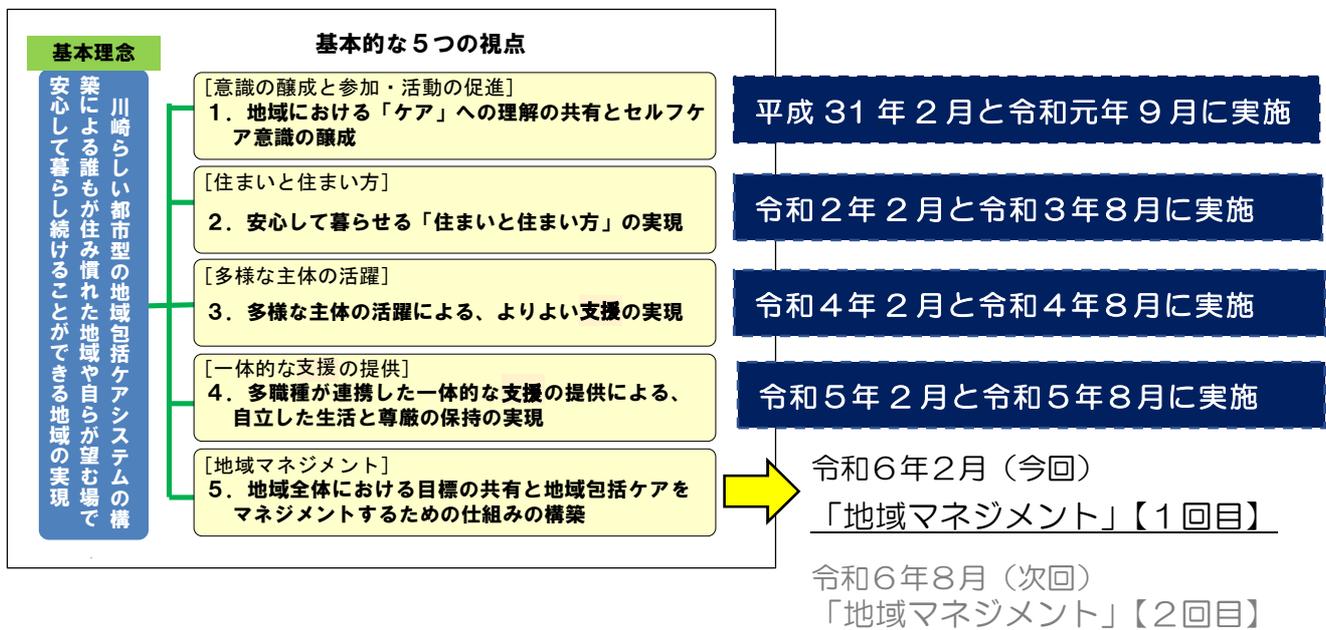
(1) ディスカッションテーマに対する「考え方・視点」や「意見」の集約を行います
自らが地域包括ケアシステムの担い手として、「考え方・視点」や「意見」を出し合います。

(2) 参加者による「全員参加型」で行います

専門職団体、企業、大学、住民団体等、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合います。

3 テーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を参考とし、設定することとします。



地域マネジメントとは…主に行政に期待される役割で、地域の目標を全体で共有しながら個々の活動が1つの目標に向かって機能するための仕組みを構築すること。
なお、具体的な目標を検討する際は、地域住民の声やデータ等に基づいた客観的な事実を把握するとともに、その情報を地域全体で共有することで共通認識の醸成につなげる必要がある。

(今回話し合うテーマ)

「誰もが安心して暮らし続けられるまちをデザインしてみよう。」

あなたは、自分が住むまちにどのような資源(場所、活動、サービス等)があれば安心して暮らし続けられると思えますか？

川崎市のある「まち」について、住民等が考える課題や地図から読み取れる情報、人口・世帯数などのデータを基に、グループで自由にデザインしてみましょう。

今回は、企業や団体の職員としてではなく、この「まち」の住民の立場で考えてみてください。

資源のイメージ

- 個人の活動(ボランティア等)
- 団体活動(集いの場、イベント、広報・啓発活動等)
- 民間サービス(配送サービス、商業施設等)
- 公的サービス(補助制度、福祉施設等)
- 各種インフラ(交通、ネット、空間等)

4 実施方法

会場グループ (18:25~19:15/報告 19:15~)

当日、事務局がファシリテーター(進行役)、タイムキーパー、報告者を指定します。指定された方は、その役割をお願いします。ファシリテーターの方は、①~⑤の進行をお願いします。

- 18:25~ ① 自己紹介(1人30秒程度):名前、所属、行ってみたい(今行きたい)都道府県
- 《前半》
18:30~ ② 個人ワーク(10分程度)で、ある「まち」の住民等が考える課題を基に、この「まち」に安心して暮らし続けるためにあるとよい資源を付箋に記入してください。課題の裏付けとなる情報や資源を考える助けとなるような情報も確認できますので、地区カルテや地図も併せて御覧ください。地区カルテ等から資源を考えていただいても構いません。
18:55 ③ グループ内で1人2~3つずつ順番に発表し、付箋を模造紙に貼ります。発表の際は、資源の概要と併せて、この資源があるとよいと考えた理由(=どの課題や情報を受けて考えた資源か)も説明してください。
(目安) なお、同趣旨の意見が既に出ている場合は、近くにまとめて貼ってください。
- 《後半》
18:55~ ④ 出された資源について、カテゴリ(内容)に近いものをまとめ、タイトルを付けてください(参考:4ページ<イメージ>)。
19:15 ⑤ 一番多くの資源が出たカテゴリや、特にグループ内で賛同を得た資源等、報告者が全体に報告する内容を相談してください。
(目安)
- 19:15~ ⑥ ⑤で決定した内容を報告者が全体に報告します。報告の際は、その資源があるとよいと考えた理由も説明してください。(各グループ2分)

オンライングループ (18:25~19:15/報告 19:15~)

ファシリテーター（進行役 兼 タイムキーパー、報告者）を事前に指名させていただきました。
ファシリテーターの方は、①~⑤の進行をお願いします。

- 18:25~ ① 自己紹介（1人30秒程度）：名前、所属、行ってみたい（今行きたい）都道府県
- 《前半》
18:30~ ② 個人ワーク（10分程度）で、ある「まち」の住民等が考える課題を基に、この「まち」に安心して暮らし続けるためにあるとよい資源を挙げます。課題の裏付けとなる情報や資源を考える助けとなるような情報も確認いただけますので、地区カルテや地図も併せて御覧ください。地区カルテ等から資源を考えていただいても構いません。
- 18:55
(目安) ③ グループ内で1人2~3つずつ順番に発表します（書記は委託業者が務めます。）。発表の際は、資源の概要と併せて、この資源があるとよいと考えた理由（=どの課題や情報を受けて考えた資源か）も説明してください。
なお、同趣旨の意見が既に出ている場合は、その旨もお話してください。
- 《後半》
18:55~ ④ 出された資源について、カテゴリ（内容）が近いものをまとめ、タイトルを付けてください（参考：4ページ<イメージ>）。資源の移動やタイトルの記載は、書記（委託業者）が行います。
19:15
(目安) なお、発表の中で出し切れなかったものや、他のメンバーの発表を聞いて思いついたものがあれば、追加で資源を出してください。
- ⑤ 一番多くの資源が出たカテゴリや、特にグループ内で賛同を得た資源等、報告者が全体に報告する内容を相談してください。
- 19:15~ ⑥ ⑤で決定した内容を報告者が全体に報告します。報告の際は、その資源があるとよいと考えた理由も説明してください。（各グループ2分）

※ 各グループにファシリテーター（進行役）の補佐として行政職員が同席します。

※ 各グループの発表後、座長の田中滋先生から講評をいただきます。

※ 各グループの意見や講評コメントは、後日報告書としてまとめます。グループディスカッションの感想や話しきれなかった意見等がありましたら、アンケートに記入してください。

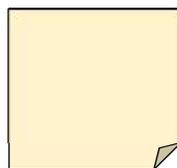
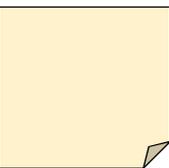


Zグループ が考える

誰もが安心して暮らし続けられるまちに必要な資源

集いの場

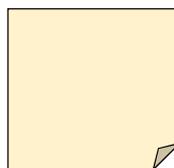
外出+運動が
できる場の創
出



ご近所〇〇
マップの作成

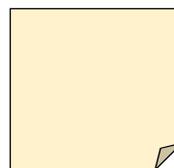


〇〇教室の実
施



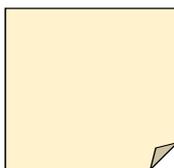
団体による 活動

加入案内資料の
作成・新規住民
を中心とした訪
問の実施



民間サービス

配達サービス
の提供



<タイムテーブル>

時間		内容
18:00~	2分	開会・副市長挨拶、座長挨拶
18:02~ 18:05	3分	川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組
18:05~ 18:20	15分	地域包括ケアシステムに関する市内の活動紹介 (発表者) 生活協同組合パルシステム神奈川 総合福祉推進室 担当課長 三井 俊成 様
18:20~ 18:25	5分	グループディスカッションの流れの説明 テーマ 「誰もが安心して暮らし続けられるまちをデザインしてみよう。」
18:25~ 18:30	5分	自己紹介 名前、所属、行ってみたい(今行きたい) 都道府県(1人30秒程度)
18:30~ 19:15	45分	グループディスカッション ●個人ワーク(10分程度) ある「まち」の住民等が考える課題等を基に、この「まち」に安心して暮らし続けるためにあるとよい資源を挙げます。 ●前半(15分程度) 1人2つ~3つずつ、あるとよいと考えた理由と併せて資源を発表します。 ●後半(20分程度) ファシリテーターを中心に話し合い、カテゴリ(内容)が近いものをまとめてタイトルを付けるとともに、報告者が全体に報告する内容を決めます。
19:15~ 19:35	20分	報告 グループ内で出た代表的な資源を報告してください。(各グループ2分)
19:35~ 19:40	5分	講評 座長の田中滋先生から講評をいただきます。
19:40~	5分	閉会・市長挨拶